

สวัสดี (サワディー) 3号

* สวัสดีค่ะ サワディーカ (タイ語で「こんにちは」のこと)
広島県立尾道特別支援学校 教諭 金丸樹理

チョンブリ県聾学校に赴任してもうすぐ1年が経とうとしています。

さて今回は、授業風景を御紹介します。

私は、小学1年生から4年生までの、音遊び、発音指導の授業を担当しています。

教室

この教室では、音を聴くための練習、及び発音指導を行っています。

とても広い教室ですが、子どもの数が多く、体を動かす活動が多いため、授業中は狭く感じます。



舌の体操

ほとんどの子どもは声を出さず、タイ手話だけで生活しているため、舌や口のまわりの筋肉が固いです。そのため、筋肉や舌をやわらかくする体操がとても大切です。はちみつやジャムなど、みんなが大好きな甘い物を使って舌の体操をしています。



あいさつ

上段が「こんにちは」、
下段が「元気です」。

補聴器をしていないので、先生の発音を耳でフィードバックして学習することが、子どもたちは難しいです。そのため、聴覚以外の感覚を使っての指導が大切です。

写真は、口の開け方や舌の位置を絵カードで示したものです。授業では、タイ人の先生の口元を見ながら、呼吸の仕方、舌の位置等の確認をします。



フラフープ

フラフープを使った授業は、みんな大好きです。太鼓の音に合わせて跳んだり回したりして遊んでいます。

タイは暑いので、子どもはあまり外に出て遊びたがらず、日本の子どもより運動不足です。授業では、体を動かす活動を入れるようにしています。



タンブリン

タンブリンの使い方を説明しています。昨年度、新しくタンブリン、大太鼓、小太鼓、カスタネット、鈴を購入しました。

子どもたちは音が聞こえると「音、あるよ」と言ってくれます。

リズム打ちの授業で使っています。

日本はもう梅雨入りしたそうですね。

タイも雨季に入り、果物のおいしい季節になりました。タイでは、日本にはない果物がたくさん市場に並んでいます。

それではまた。

ໂພດ ດີ ດຳ (元気でね。)

チョックディー カ